

令和元年度 第1回 海洋教育研究基盤センター運営委員会 議事要旨

日 時： 令和元年 11 月 21 日（木） 15:10～17:50

場 所： 第二会議室

出席者： 藤本（岳）センター長（委員長）、藤本（昌）准教授、湊准教授、
廣野准教授、ルックス准教授、三輪准教授、松野特命講師

欠席者： 巽教授、矢野教授

陪席者： 水野専門職員、福田グループ員、信川事務補佐員

【資料】

- 1 神戸大学海洋教育研究基盤センター規則及び運営委員会規程
- 2 2019 年 12 月期深江丸運航計画
- 3 2019 年 12 月期深江丸運航計画に関する i-shipping の資料
- 4 2020 年 1 月期-3 月期深江丸運航計画
- 5 2020 年度神戸大学舟艇に関する神戸運輸管理部一括届出準備について
- 6 課外活動 男子端艇部事故に伴う損傷品の弁済に関して
- 7 舟艇・管理施設利用申請方法の見直し について
- 8 次期練習船の納船時期の変更について
- 9 次期練習船スタッフ準備に向けた取り組みについて

【説明】

審議に入る前に、委員長から海洋教育研究基盤センター立ち上げの主旨、今後のマター一等について口頭で説明があった。

【審議事項】

1. 副センター長の選出について
委員長から資料 1 に基づき説明があり、審議の結果、副センター長として巽教授が選任された。
2. 部門長の選出について
委員長から資料 1 に基づき説明があり、審議の結果、運行管理部門長として藤本（昌）准教授、海洋教育部門長として廣野准教授、連携推進部門長としてルックス准教授が選任された。
3. 2019 年 12 月期 練習船深江丸運航計画について
委員長から資料 2・3 に基づき、2019 年 12 月期 練習船深江丸運航計画について説明があり、審議の結果、12 月 1 週目の i-shipping の運航については見合わせる事となった。おって、1 月期-3 月期の i-shipping の運航と一元化することの可否を委員長より先方へ確認することとなった。また、大阪大学との共同利用（12 月 16 日）の受入については、当日の責任の所在や必要な受入状況、対応可能人員数等を確認したうえで判断を委員長へ一任することとなった。

4. 2020年1月期-3月期 練習船深江丸運航計画について

委員長から資料4に基づき、2020年1月期-3月期 練習船深江丸運航計画について説明があり、1月期-3月期のi-shippingの運航については、深江丸の運航計画を踏まえ2020年2月4~7日の運航を委員長より先方へ提案することとなった。運航計画の確定については、先方の回答を踏まえて次回の委員会で審議することとなった。なお、i-shippingに伴う航海の執職船長は藤本(昌)准教授へ一元化する旨、併せて確認された。

5. 2020年度神戸大学舟艇に関する神戸運輸管理部一括届出準備について

委員長から資料5に基づき、2020年度神戸大学舟艇に関する神戸運輸管理部一括届出準備について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6. 課外活動 男子端艇部事故に伴う損傷品の弁済に関して

委員長から資料6に基づき、課外活動男子端艇部事故に伴う損傷品の弁済について説明があり、審議の結果、センターによる対応は大学本部による全学の統一方針の決定を待った上で決定することとなった。

7. 舟艇・管理施設利用申請方法の見直しについて

委員長から資料7に基づき、舟艇・管理施設利用申請方法の見直しについて説明があり、審議の結果、利用申請方法について、顧問による事前確認を行う方向で、次回の委員会で再度審議することとなった。なお、深江祭等の顧問が存在しない行事については、別途検討することとなった。

8. 次期練習船の納船時期の変更について

委員長から資料8に基づき、次期練習船の納船時期の変更について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

【報告事項】

1. 次期練習船スタッフ準備に向けた取り組みについて

委員長から資料9に基づき、次期練習船の運航において、船員の増員(最低18名(5人増))が必要である旨の報告があった。

2. 2020年度以降深江丸機関長に関する人事の進捗について

委員長から、2020年4月以降の深江丸機関長について、海事科学研究科において現在採用に向けてのプロセスが進んでいる旨の報告があった。

3. 「船舶実習3」における登ししょう訓練・高所作業訓練の再開検討について

委員長から、「船舶実習3」における登ししょう訓練・高所作業訓練の再開検討に関する報告があった。

以上